

令和4年度 学校関係者評価

県立ゆり支援学校

◎実施時期：令和5年2月 ◎回答数： 9 / 14 (71%)
 ◎評価： A：よい B：だいたいよい C：もう少し D：不十分
 ◎評価上段：人数(人) 評価下段：割合(%)

No.	学校関係者評価項目及び指標	評価			
		A	B	C	D
1	児童生徒が地域で生き生きと取り組み、達成感を感じることができる学習活動を実践している。 【指標】 行事：運動会、ゆり支援フェスティバル等 各種スポーツ大会・美術展・技能競技大会等への参加等	9	0	0	0
		100%	0%	0%	0%
2	児童生徒一人一人の力を伸ばす授業を目指して、全校で授業改善に取り組んでいる。 【指標】 全校授業研究会、学部授業研究会、授業デザインミーティング、 授業アドバイザー、校内研修会等	9	0	0	0
		100%	0%	0%	0%
3	地域と関わる学習活動や貢献活動等をととして、障害者理解を進めている。 【指標】 学校間交流、居住地校交流、障害理解学習、ミニ学校展 清掃・除雪・花壇整備などの地域貢献活動、地域交流等	9	0	0	0
		100%	0%	0%	0%
4	卒業後の自立と社会参加に向けて、福祉、行政、事業所等と連携した指導を行っている。 【指標】 職場・実習開拓、事業所見学、作業学習、現場実習、福祉行政との連携等 職場定着対策会議、追指導	9	0	0	0
		100%	0%	0%	0%
5	地域の小・中学校等の要請に応じて、特別支援教育に関する指導助言を積極的に実施している。 【指標】 教育相談、学校見学・体験学習等 特別支援教育セミナー、巡回相談等	8	1	0	0
		89%	11%	0%	0%
6	児童生徒が安心して生活できる安全な学校環境を整えている。 【指標】 校舎内外の施設設備の点検・管理、避難訓練や緊急時対応訓練、 新型コロナウイルス感染症対策等	9	0	0	0
		100%	0%	0%	0%
7	学校の取組や学習の様子について、積極的に情報を発信して学校への理解を進めている。 【指標】 学校公開、学校展、テレビや新聞、ホームページ、学校報や各種通信等	9	0	0	0
		100%	0%	0%	0%

■学校に対する意見等

- ・生徒のあいさつがしっかりできていることに感心している。障害者に関連した事業所としては、地域の皆様に障害者理解を広めることができると考えている。今後ともよろしく願いしたい。
- ・近年、話題に上っている生涯学習活動について。在学中から、また、卒業後も打ち込めるものを子どもたちに見つけてほしい。そのためにきっかけ作りを提供できないかと考えている。課題はあると思うが、地域で行われている内容等、連携も含めて相互に考えていければと感じる。
- ・いつも生き生きした子どもたちの様子を拝見し、元気をもらっている。卒業後の長い社会生活を見通した地域との関わりが必要であり、行政としてできること、すべきことを考えていきたい。「要支援」という観点からだけでなく、「共生」という観点から取組をさらに考えていきたい。
- ・社会で働く障害者の課題が多い昨今、今後ともeサポートとの連携を図り、卒業生が安心して社会で働くことができるよう、また、一般就労の定着率100%が継続できるよう、障害者支援事業所として関わっていきたい。
- ・感染症が猛威を奮ったこの1年であった。しかし、学びやつながりを止めることなく、ゆり支援学校の教育活動が展開されてきました。実に大変な苦労があったと思う。校長先生はじめ、ゆり支援学校の全ての先生方、保護者の皆様のこれまでの取組に心から敬意を表したい。
- ・コロナ禍での活動ゆえに様々な制限があるのは承知しており、児童生徒の中には特に配慮が必要な子どももいる。しかし、地域や社会に子どもたちのことを理解してもらうには、交流する機会が必要だと考える。今後も地域との交流活動を継続してほしい。
- ・地域における更なる障害者雇用促進のため、引き続き連携の強化をお願いしたい。
- ・コロナ禍の中、学校の努力には頭が下がる思いである。